小松

寄宿舎「睦習館」今年度閉館

小松市松東中の冬季寄宿舎で、今年度末に閉館する「睦習館」に8日、1～3年生23人が入寮した。2月15日までの約1カ月間、仲間と一緒に暮らす集団生活に身を置く。卒業生や関係者から閉館を惜しむ声が相次ぐ中、寮生は「『最後の寮生』として規則正しい生活を送り、しっかり勉強に励みたい」とそれぞれの成長を誓った。

「最後の寮生」集団生活開始

松東中生23人「成長したい」

県内小中学校で唯一

今年度で閉館する睦習館

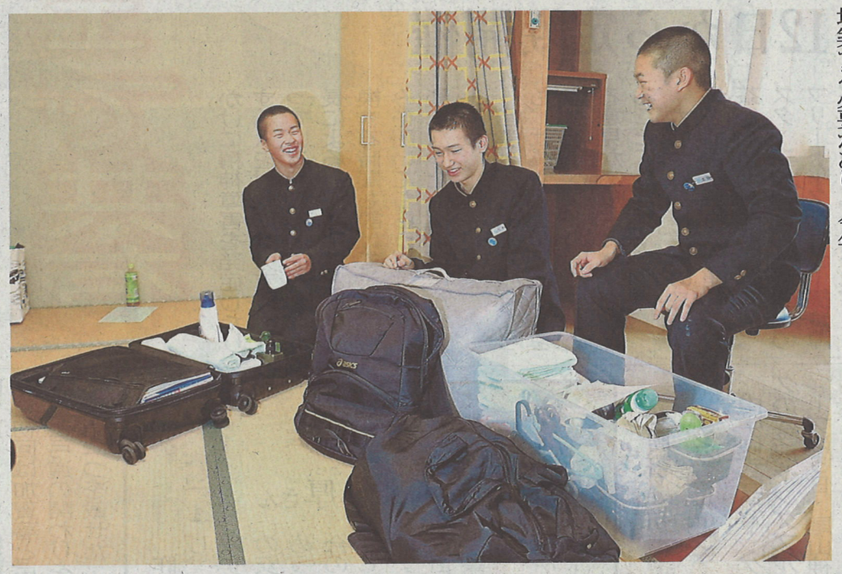
睦習館は1968（昭和43）年、雪で松東中への通学が困難になる中山間地出身の生徒のために校舎隣接地に整備された。現在は県内の小中学校で唯一の寄宿舎だが、近年は交通事情が改善し、平野部、中山間地を問わず、規則的な生活が身に付くとの理由で入寮する生徒が増加。さらに20 21年に松東みどり学園と統合する松東中は、校舎を増築する必要があり、今年度中の閉館が決まった。

同館では、寮生は毎日、午前6時40分の起床から午後10時20分の消灯まで、決まったスケジュールに沿って行動する。同館から学校に通い、掃除や食事の配膳、洗濯なども行う。スマートフォンやゲーム機、漫画などの持ち込みは禁止で、帰寮後は約2時間勉強する。

この日、同館で行われた入寮式では、八十山修校長、同校OBの宮橋勝栄教育後援会長、石黒和彦市教育長らがあいさつ。同館で3年間過ごした、元寮生でもある宮橋会長は「閉館は寂しいが、寮生活を大いに楽しみ、いろんなことを学んでほしい」と激励した。

寮生は指導役を担う舎監や教員と昼食を味わい、部屋に戻ると、それぞれの荷物などを確認した。宮田緑希さん（2年）は「今年で最後なので記念に入寮した。自分の役割や責任を果たして成長したい」と意気込んだ。

寮長を務める土田楓太さん（3年）は「寮生活は普段できない貴重な体験。自律した生活を送れるよう全員で頑張る。仲間と絆を深めたい」と話した。



集団生活を前に荷物を確認する生徒＝小松市松東中の寄宿舎「睦習館」

石川南

「のっティ」現在位置表示

金沢工大生らのプロジェクト

バスどこシステム

専用サイト試験公開

金沢工大と国際高専の学生でつくる「バスストッププロジェクト」は8日、スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどの画面で、野々市市のコミュニティーバス「のっティ」の現在位置が分かる「バスどこシステム」の専用サイトの一般公開を試験的に開始した。3月15日まで運用し、アンケートを通じて利用者のニーズを把握する。

同プロジェクトが開発した「バスどこシステム」はスマホなどから専用サイトにアクセスすると、市内4路線の「のっティ」の運行ルートと、バスの現在位置が画面上の地図に表示される。昨年7月28、29日に開かれた「野々市じょんからまつり」（北國新聞社後援）に合わせて2日間限定の運用テストが行われた。

約2カ月間に及ぶ、初めての長期運用試験となる今回の一般公開は、衛星利用測位システム（GPS）などがバス走行中の揺れに耐えられるよう、昨夏の運用テスト時から一部の機器を改良して実施している。専用サイトには利用者向けアンケートも用意し、寄せられた意見や提案を今後の研究・開発に生かすという。

同プロジェクトの指導を担当する国際高専の袖美樹子准教授は「今回の一般公開の期間はバスのダイヤが乱れやすい冬季に重なる。将来的な本格運用も視野に入れ、利用者の声をしっかり集めたい」と話した。

試験的に一般公開された「バスどこシステム」

味平かぼちゃで菓子 規格外ナシ活用し酒

ＪＡ加賀、市長に紹介

ＪＡ加賀の南出紀良組合長ら4人は8日、加賀市役所に宮元陸市長を訪ね、市特産の味平（あじへい）かぼちゃを使用した「加賀の味平パンプキンガレット」と、市内で生産されたナシを使用した「萬歳楽 加賀梨酒」をＰＲした。

味平かぼちゃのペーストを使い、ホワイトチョコレートを包み込んだガレットは、同市塩屋町の菓子製造「谷口物産」に製造を依頼した。2023年の北陸新幹線敦賀開業を見据え、若い女性をターゲットに商品化した。昨年12月から同市作見町の農産物直売所「ＪＡグリーン加賀元気村」で販売を始めており、今後、市内の旅館や駅などにも販路を拡大していく。

梨酒は同市奥谷町と小塩辻町で生産された規格外のナシを使用。白山市の「小堀酒造店」が製造し、11月から販売している。さっぱりした甘さが特徴という。

ガレットを口にした宮元市長は「厚みがあり、食べ応えがある」と語った。南出組合長は「加賀市の定番のお土産として手にとってもらいたい」と期待した。

味平かぼちゃのガレットと梨酒をＰＲする南出組合長（右）＝加賀市役所

元市長の孫、竹田氏 市議選に出馬表明

小松

4月14日告示、21日投開票の小松市議選（定数22）で、竹田又男元市長の孫である無職竹田良平氏（29）＝犬丸町＝が8日、出馬を表明した。自民党に推薦願を提出し、同党に推薦を求める方針という。

同日、北國新聞社を訪れた竹田氏は「情熱を持って頑張っていきたい」と話した。会社員時代に生かし、情報収集などを訴えていく。

竹田氏は小松市出身。2012年に北陸学院大部を卒業。NTT東日本（東京）に入社し、今年退社した。

復元窯の火入れ

加賀の陶芸

加賀市山中漆器産業協同組合は、国史跡「九谷古窯跡」の一つ、加賀市が復元を進める「

（来訪）いさ

◇白山市教

（県電気工事工業
副理事長）竹内和
事）東本一郎氏（
事）荒河隆宏氏（
弘氏（同配電課長）
業務課長）石田雅
庫理事長）沖田清
経営管理本部長）
辰夫氏（白山支社）
吉森昭一氏（同次
古川孝志氏（同生涯学習
聡氏（同文化財保護課
スポーツ課長）澤
域振興公社理事長）
専務理事兼事務局
総務課長）高柳哲
課長）加藤秀正氏（
清水孝司氏（白山支
古田栄一氏（同副
氏（手取川七ヶ用
氏（宮西豊氏（同
巳氏（同事務局長）

大久保（おおくぼ） 舞香（まいか）ちゃん 長女
白山市西柏町

大矢（おおや） 朔大（さくと）ちゃん 次男
白山市菜の花2丁目